

# Hello! FUJISEI

No. 135

悪性新生物（がん）、心臓病、脳血管疾患を合わせると死因の約6割を占めます。平成23年の患者調査によると、悪性新生物、脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病、高血圧性疾患という生活習慣病の患者総数は、高血圧性疾患906万人、糖尿病270万人で、悪性新生物、脳血管疾患、虚血性心疾患を合わせると約1600万人にもなります。

平成20年度国民医療費は、悪性新生物2.9兆円、高血圧性疾患1.9兆円、虚血性心疾患0.8兆円、脳血管疾患1.6兆円、糖尿病1.2兆円と8兆円を超え、一般診療医療費の3割にもなります。

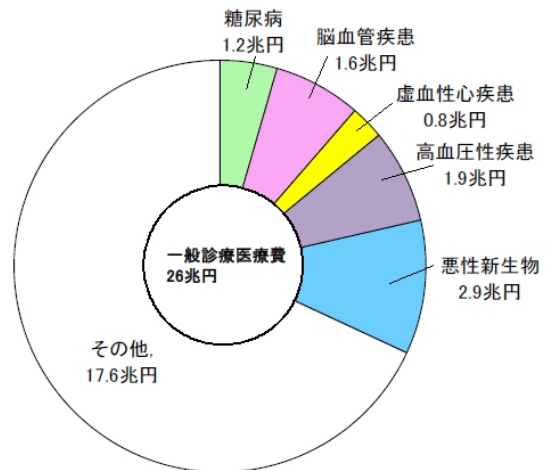
「生活習慣病」という概念は、「国民に生活習慣の重要性を普及啓発し、健康に対する自発性を促し、生涯を通じた健康増進のための個人の努力を社会全体で支援する体制を整備する」ことを目的に導入されたものです。疾病の予防対策には、一次予防、二次予防、三次予防があります。喫煙とがんや心臓病、動物性脂肪の過剰摂取と大

## 8兆円を超える生活習慣病の医療費

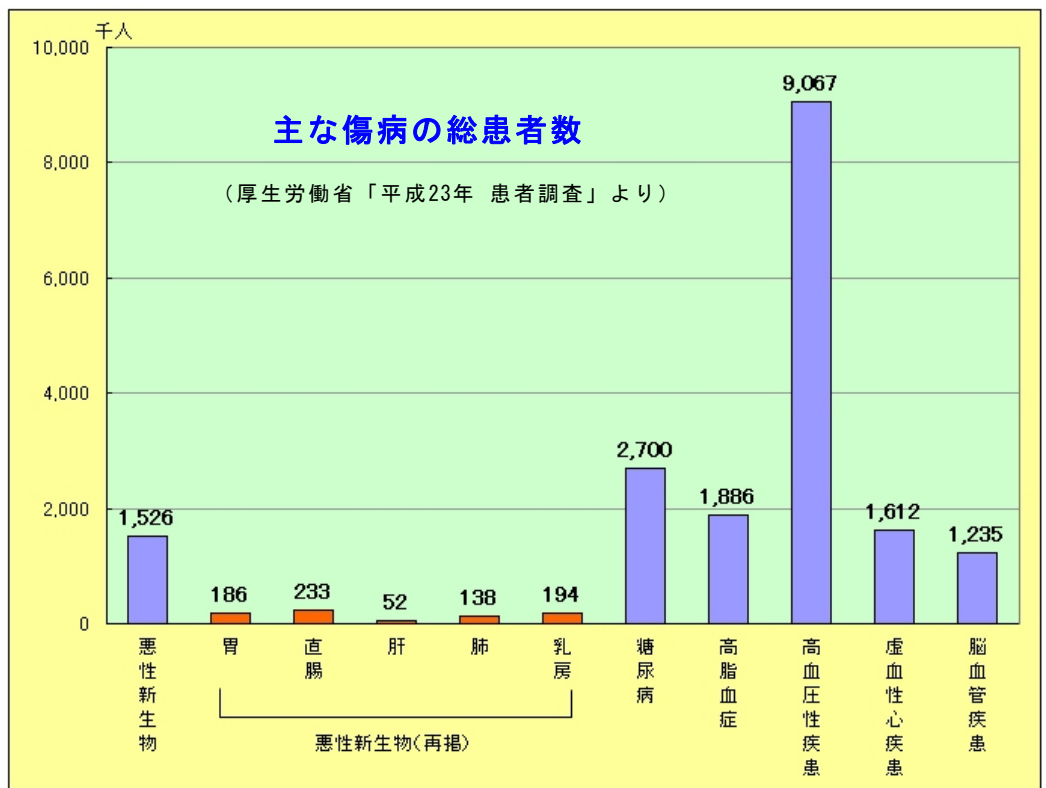
# 高血圧性疾患の総患者数は906万人

腸がん、肥満と糖尿病など、食生活や運動などの生活習慣とこれらの疾患の関係が明らかになり、健康診断などによる早期発見・早期治療という二次予防に重点を置いていた従来の対策に加え、生活習慣の改善により発症そのものを予防するという一次予防対策も推進していく方針が「生活習慣病」という言葉に表されています。

生活習慣病と一般診療医療費



(厚生労働省「平成20年度 国民医療費」より)



注：宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏および福島県を除いた数値。